

はじめに

福岡県では、少子化の流れを変えることを目指し、若者が結婚、子育てに夢や希望を持ち、その希望をかなえ、子どもを安心して生み育てることができ、子どもが健やかに育つ社会づくり、子育てを地域全体で支え応援する社会づくりを進めるため、平成27年3月に、平成31年度までの5年間を計画期間とする「ふくおか子ども・子育て応援総合プラン」を策定しました。このプランに基づき、出会い、結婚、出産、育児など人それぞれのライフステージに応じた支援をきめ細かく、切れ目なく行っているところです。

本県の合計特殊出生率は、平成16年（2004年）の1.25を底に増加に転じ、平成25年（2013年）は1.45、平成29年（2017年）は1.51と微増しているものの、現状の人口を維持するために必要な2.07を依然として下回っています。未婚化、晩婚化に伴う少子化が進行している状況に変わりなく、より一層、地域の実情に即した取組の充実が必要です。

このたび、今後の本県における少子化対策を検討、推進する上での基礎資料とするため、県民の皆様の子育てや結婚などについての意識を把握することを目的として「子育て等に関する県民意識調査」を実施しました。

本調査で得られた結果を参考にして、国や市町村をはじめ関係機関や関係団体との連携を図りながら、少子化対策の充実を図ってまいります。

この報告書が、多くの皆様にも御活用いただければ幸いです。

本調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

平成31年3月

福岡県福祉労働部長 神代 暁宏